福島第一原子力発電所現地確認報告書

１　確認日

令和８年６月２９日（月）

２　確認箇所

・使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第四施設）（図１）
・Ｈ１タンクエリア（図１）

３　確認項目

（１）使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第四施設）の状況
（２）ＡＬＰＳ処理水の移送状況

４　確認結果の概要

（１）使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第四施設）の状況

東京電力では、セシウム吸着装置や多核種除去設備等から発生する水処理二次廃棄物について、漏えいや汚染拡大のリスクを低減するため、安定化処理及び建屋内保管への移行を計画としている。現在、これらの水処理二次廃棄物は、使用済セシウム吸着塔一時保管施設等の屋外施設で保管されている。

今回、セシウム吸着装置（ＫＵＲＩＯＮ）、第二セシウム吸着装置（ＳＡＲＲＹ）等で使用された使用済吸着塔等を保管している使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第四施設）（以下「第四施設」という。）の状況を確認した。（前回確認：令和元年６月１９日）

・第四施設では、コンクリート製ボックスカルバート及び架台が設置されており、架台には使用済吸着塔が保管されていることを確認した。（写真１）
・現場では、施設周辺のほか、ボックスカルバート間通路の空間線量率の測定結果が表示されていた。（写真２）
・確認した範囲において、設備の破損や水の漏えい等の異常は認められなかった。

（２）ＡＬＰＳ処理水の移送状況

東京電力では、多核種除去設備等処理水（以下「ＡＬＰＳ処理水」という。）の海洋放出に当たり、希釈前のＡＬＰＳ処理水の放射性核種濃度や水質を測定し、トリチウム以外の放射性核種濃度が法令上の基準以下となっていることを確認している。また、トリチウムについても、ＡＬＰＳ処理水を海水で希釈した水について、法令上の基準（６０，０００Ｂｑ／Ｌ）を下回る運用目標（１，５００Ｂｑ／Ｌ）を設定し、当該基準値未満であることを確認した上で海洋放出を行っている。

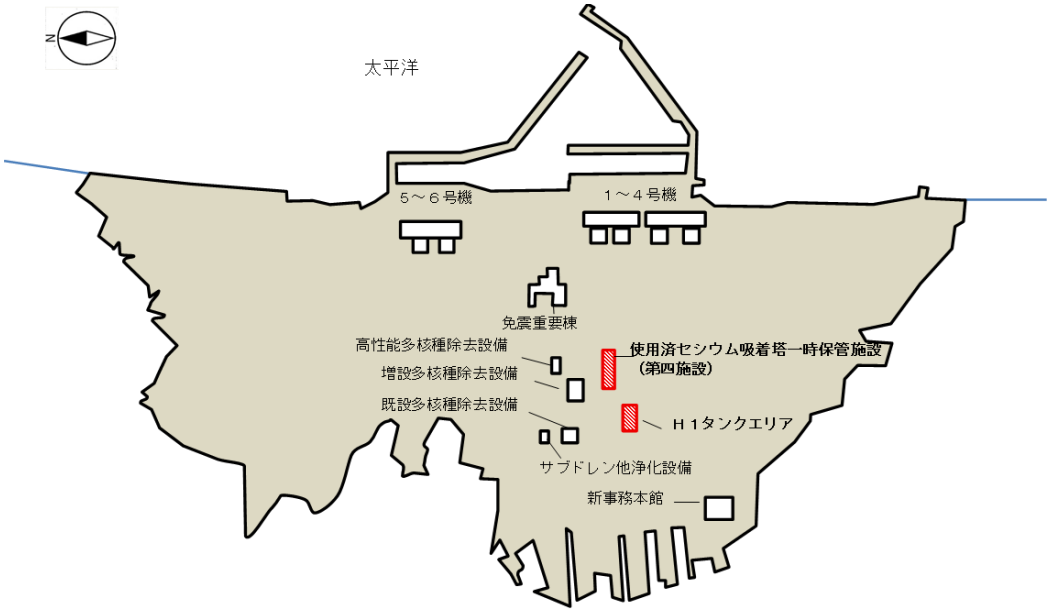
今回、ＡＬＰＳ処理水の第２３回目（令和８年度第５回目）の放出に向け、移送元タンク群から測定・確認用タンク群へのＡＬＰＳ処理水の移送が行

われたことから、移送元タンク群であるＨ１東エリアＡ／Ｂタンクにおいて状況を確認した。（写真３）

・現場確認時には、作業員３名によりＡＬＰＳ処理水の移送作業が行われていた。

・タンクと配管との接続部には養生が施されていたほか、移送ポンプ及び周辺配管の下部には堰付きの受け設備及び漏えい検知器が設置されていた。（写真４）

・確認した範囲において、タンク及び接続配管からの漏えい等の異常は確認されなかった。



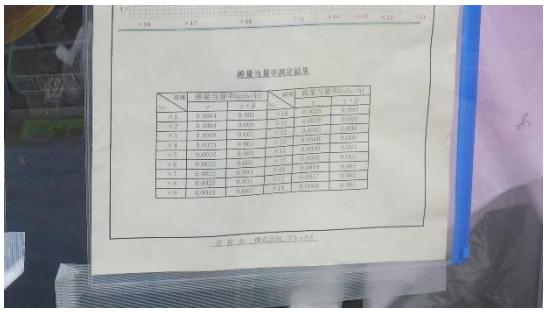
（図１）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真１－１）
第四施設の状況（コンクリート製ボックスカルバートの設置状況）



（写真１－２）
第四施設の状況（架台及び架台上のセシウム吸着塔の状況）



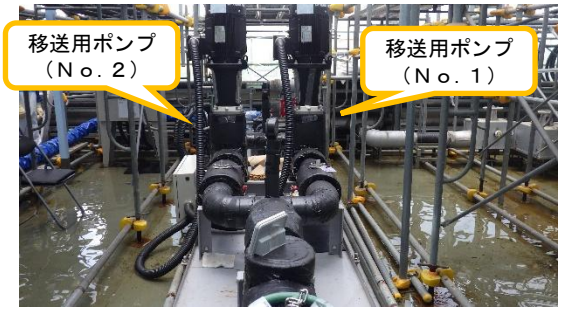
（写真２－１）
施設周辺の空間線量率の測定結果の表示（γ線で０．０００４～０．００６０ｍＳｖ／ｈ）の表示



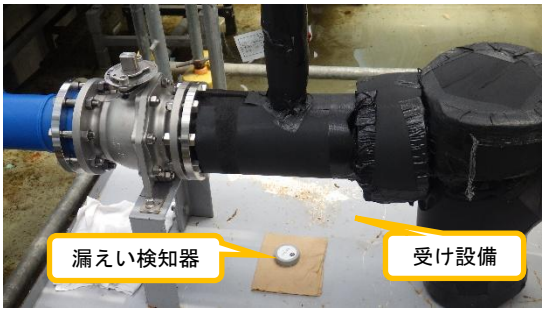
（写真２－２）
ボックスカルバート間通路の空間線量率の表示（０．０６０ｍＳｖ／ｈの表示）



（写真３）
Ｈ１タンク東エリア



（写真４－１）
移送用ポンプ（現場確認時は、左側のポンプ（Ｎｏ．２）が稼働）



（写真４－２）
配管の下部に設置された受け設備



（写真４－３）
タンクと配管との接続部（養生が施され、配管下には受け容器が設置）

５　プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。